

STYLING EFFECT LEGACY BR

DAMD

Styling Effect

取付説明書

プライマー (K200 PAC)

⚠ 取扱注意

- 塗布後は10分以上乾燥させて下さい。
- 塗布する際、貼り付け箇所からプライマー液がはみ出さないように注意して下さい。
- はみ出した場合は脱脂剤で素早く拭取って下さい。
はみ出したままにしておくと黄色く変色する場合があります。

■ 取り付け前に必ずお読み下さい ■

この度は当製品をお買上げ頂き誠にありがとうございます。取付作業を行なう前に必ず製品の仮合わせ及び付属品の確認をおこなって下さい。また、下記注意事項を必ず読み、安全に作業をおこなって下さい。

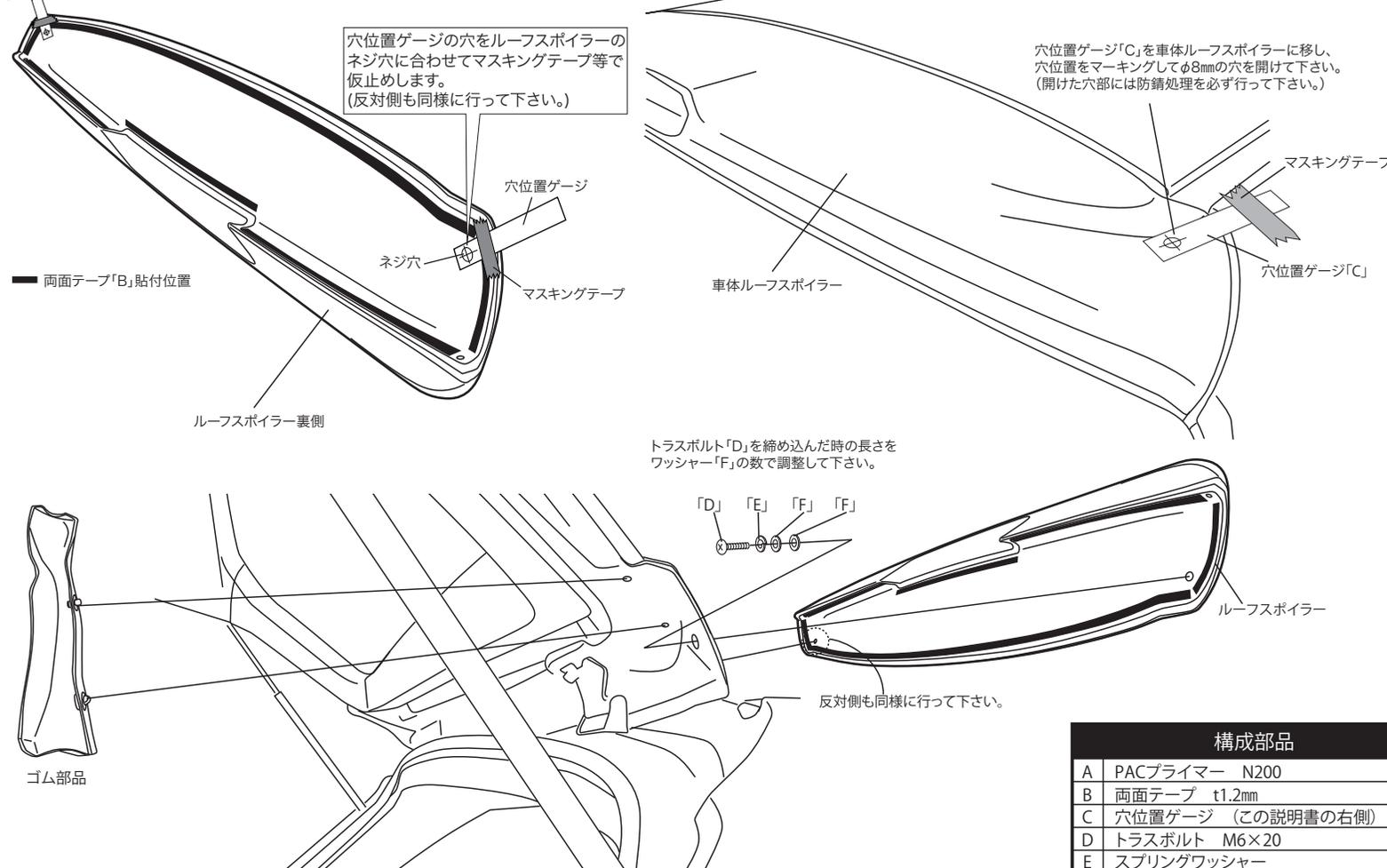
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行わないで下さい。
- 必ず塗装前に仮合わせを行い、取り付け位置の確認をおこなって下さい。塗装後のクレーム等是对応出来ません。
- 本製品を取り付ける部分は汚れや埃を取り除いて下さい。
- 作業は2名以上の複数名で行なうことをお奨めします。
- ゴムモール、両面テープ等の接着部分は必ず脱脂作業をし、付属のプライマーを塗布して下さい。
- プライマーの効果を発揮させる為、塗布後に常温で10分程度放置し乾燥させて下さい。
- 両面テープは外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、必要があれば両面テープ及び被接着面をドライヤーなどで温めてから施工して下さい。
- 付属のプライマーは塗装面を黄変させますので接着面以外はマスキングをし、はみ出したプライマーは速やかにアルコールなどで完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートされている車両は接着効果が十分に発揮出来ない場合があります。接着部分のボディーコートを剥離することをお奨めします。
- 両面テープの接着時は圧着を十分におこなって下さい。(目安5kg/m²)。尚、施工後24時間は洗車や高速走行は控えて下さい。

Roof Spoiler

ルーフスポイラー

■ 取付手順 ■

1. ルーフスポイラーに両面テープ「B」を貼り付けます。下図参照(貼付け面は脱脂、プライマー処理を必ずおこなって下さい。)
2. 左記の穴位置ゲージ「C」を点線でハサミ等で切り取って下さい。穴位置も切り抜きます。
3. 下図を参考に穴位置ゲージの穴をルーフスポイラーのネジ穴に合わせてマスキングテープ等で仮止めします。
4. 下図を参考にルーフスポイラーを車体ルーフスポイラーにセットして穴位置ゲージを車体ルーフスポイラーに移します。ルーフスポイラーを外して穴位置をポンチ等でマーキングして下さい。
5. マーキングした位置にφ8mmの穴(2ヶ所)を開けます。下図参照 穴部分は必ず防錆処理をおこなって下さい。また、ドリル穴開けの際に出る鉄粉が車室内、車体塗装面に付着しない様にビニール/新聞紙等で養生してください。(穴を開ける前にリアハッチ内側のゴム部品を外しておいて下さい。)
6. 両面テープの剥離紙の両端をそれぞれを3cmほど剥して、ルーフスポイラー取付け面の外側に出して、マスキングテープ等で仮止めします。
7. ルーフスポイラーを車体に当てがい、穴位置が合っているか確認して両面テープの剥離紙を引き抜き圧着させます。
8. リアハッチ内側から、トラスボルト「D」とスプリングワッシャー「E」、及びワッシャー「F」で固定します。下図参照(トラスボルト「D」を締め込んだ時にその先端がルーフスポイラー内部に干渉しないよう、ワッシャーの増減で調整して下さい。)
9. 手順4.で外したゴム部品を元の位置に取り付けて完成です。



穴位置ゲージ「C」

点線をハサミ等で切り取ってご利用下さい。

